

熊本市文化芸術振興に関する
文化芸術団体・アーティスト
アンケート調査 結果報告書

目 次

I. 文化芸術団体・アーティスト意識調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象者	1
3. 調査方法	1
4. 調査期間	1
5. 回収結果	2
6. 調査項目	2
7. 調査結果の記載について	2
8. 集計方法	2
II. 調査結果（文化芸術団体）	3
1. 文化芸術の活動領域（MA）	3
2. 熊本市の文化的な環境に対する満足度（SA）	4
3. 文化芸術活動における課題（MA）	5
4. 文化芸術活動を続けるために力を入れて取り組みたいこと（MA）	6
5. こどもや若者の参加を促すために取り組んでいること（MA）	7
6. 熊本市の文化的な環境を充実させるために市が取り組むべきこと（MA）	8
7. ご意見（FA）	10
III. 調査結果（アーティスト）	12
1. 文化芸術の活動領域（MA）	12
2. 熊本市の文化的な環境に対する満足度（SA）	13
3. 文化芸術活動における課題（MA）	14
4. 文化芸術活動を続けるために力を入れて取り組みたいこと（MA）	15
5. こどもや若者の参加を促すために取り組んでいること（MA）	16
6. 熊本市の文化的な環境を充実させるために市が取り組むべきこと（MA）	17
7. ご意見（FA）	19
IV. 資料編	21

I. 文化芸術団体・アーティスト意識調査の概要

1. 調査の目的

- 熊本市では、文化行政を市政の中核と位置づけ、「上質な生活・文化都市くまもと」を目指すため、新たに文化芸術振興に関する計画の策定を予定している。
- 計画の策定にあたり、市内を中心に活動する文化芸術団体・アーティストの活動実態や市内の文化的な環境に関する満足度、活動時の課題やニーズ等を把握するため、文化芸術団体・アーティストに対してアンケート調査を実施した。

2. 調査対象者

- 文化芸術団体：市内を中心に活動する伝統芸能系 26 団体、文化協会系 147 団体。
- アーティスト：アーティストスポット熊本に登録している 258 組。

3. 調査方法

(1) 文化芸術団体

- 熊本市から依頼状とアンケート回答用紙、返信用封筒を同封し郵送。
- 依頼状にウェブアンケートの回答フォームの URL や QR コードを掲載し、ウェブアンケートへ誘導。
- 郵送回収分はすべて熊本市で回収し、市で直接データ化した後、ウェブアンケートの回答と統合。

(2) アーティスト

- 熊本市からアーティストスポット熊本の登録アーティストに対し、メールにてアンケートを依頼。
- メール本文にウェブアンケートの回答フォームの URL 及び QR コードを掲載し、ウェブアンケートへの回答を依頼。

4. 調査期間

- 文化芸術団体：令和5年12月1日～令和6年1月31日
- アーティスト：令和5年12月7日～令和5年12月28日

5. 回収結果

調査対象	配布数	有効回収数	回収率
文化芸術団体	147 件	82 件 うち 郵送回答 59 件 ウェブ回答 23 件	55.8%
アーティスト	258 件	79 件	30.6%

6. 調査項目

- 詳細は、資料編「熊本市文化芸術振興に関するアンケート調査票（文化芸術団体、アーティスト用）」を参照。

主な内容（設問）
●文化芸術の活動領域 ●文化的環境への満足度 ●文化芸術活動における課題 ●文化芸術活動を継続するために取り組んでいること ●こどもや若者の参加を促すために取り組んでいること ●文化的環境を充実させるために市が取り組むべきこと

7. 調査結果の記載について

- 表やグラフに記載されている「N」は、設問に対する対象者数を表す。
「N」は全有効回収数で、これが構成比算出時の基数となる。
- 本文や表などに記載されている（SA）（MA）（FA）は、それぞれ単数回答、複数回答、記述回答の設問に関する集計であることを表す。
- 構成比（％）は少数点以下第2位を四捨五入しており、内訳の合計が100％にならない場合がある。
- 複数回答の設問については、回答数の合計が対象者数を超える場合がある。また、構成比（％）は対象者数に対する割合を表示するため、内訳の合計が100％を超える場合がある。
- 自由回答（その他やご意見）については、文意を変えずに修正・簡略化し、同じ意味のものを集計のためにまとめている場合がある。
- 表やグラフにおいて、長文となる選択肢等については簡略化している場合がある。

8. 集計方法

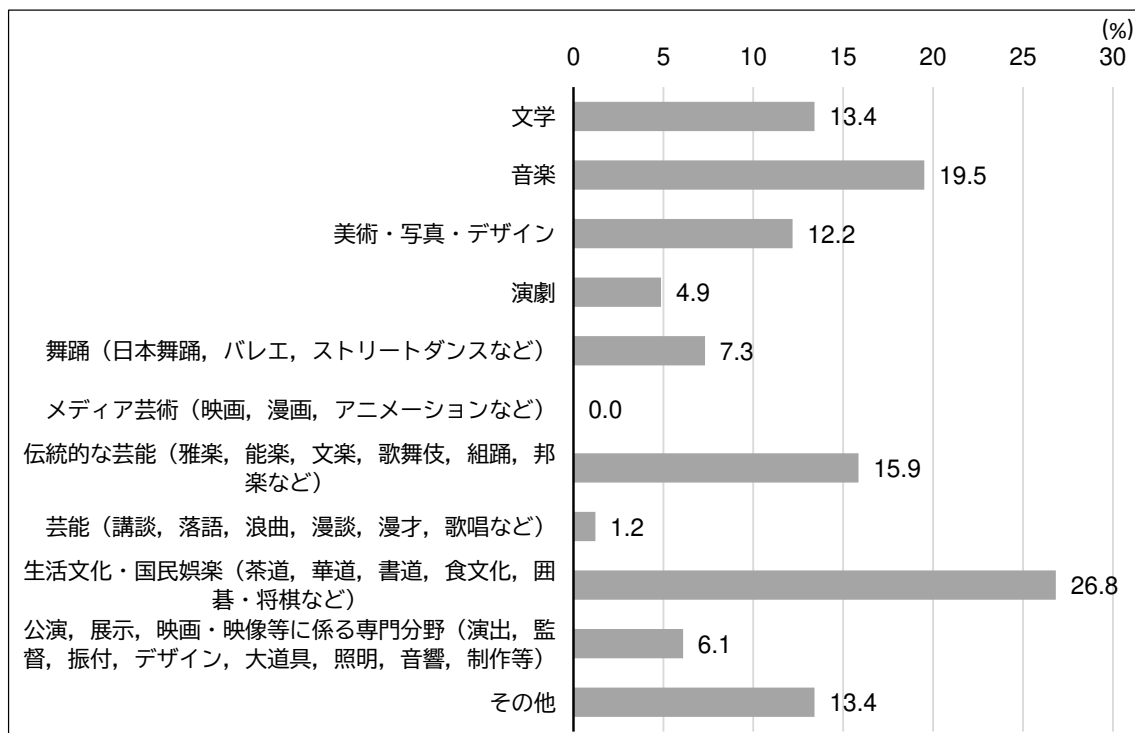
- 単純集計のみを実施。

Ⅱ. 調査結果（文化芸術団体）

1. 文化芸術の活動領域（MA）

- 「生活文化・国民娯楽（茶道、華道、書道、食文化、囲碁・将棋など）」が 22 件（26.8%）で最も大きく、次に「音楽」が 16 件（19.5%）と大きくなっている。

N= 82		
項目	件数（件）	構成比（%）
1 文学	11	13.4
2 音楽	16	19.5
3 美術・写真・デザイン	10	12.2
4 演劇	4	4.9
5 舞踊（日本舞踊、バレエ、ストリートダンスなど）	6	7.3
6 メディア芸術（映画、漫画、アニメーションなど）	0	0.0
7 伝統的な芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊、邦楽など）	13	15.9
8 芸能（講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱など）	1	1.2
9 生活文化・国民娯楽（茶道、華道、書道、食文化、囲碁・将棋など）	22	26.8
10 公演、展示、映画・映像等に係る専門分野（演出、監督、振付、デザイン、大道具、照明、音響、制作等）	5	6.1
11 その他	11	13.4
合計	99	-



■その他

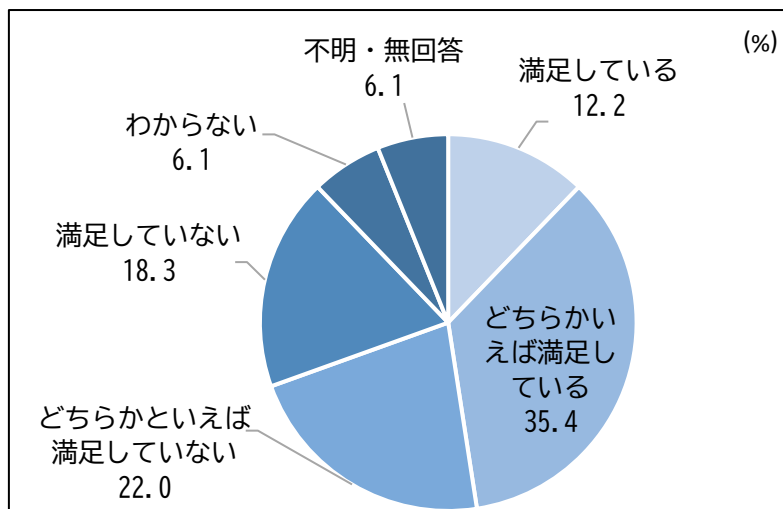
- ・おもに子ども対象の鑑賞会の企画
- ・レビュー&ミュージカル
- ・音楽を使ったレクリエーション

- ・歴史遺産の顕彰
- ・歴史上の偉人の顕彰
- ・文化活動全般に対する助成、支援
- ・熊本の民話や伝説を掘り起こして語る
- ・肥後狂句
- ・日本鶏の保存
- ・講演会
- ・展示・説明

2. 熊本市の文化的な環境に対する満足度（SA）

- 「どちらかといえば満足している」が29件（35.4%）で最も大きく、次に「どちらかといえば満足していない」が18件（22.0%）と大きくなっている。
- 「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は39件（47.6%）、「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計は33件（40.3%）となっており、わずかに「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計が上回っている。

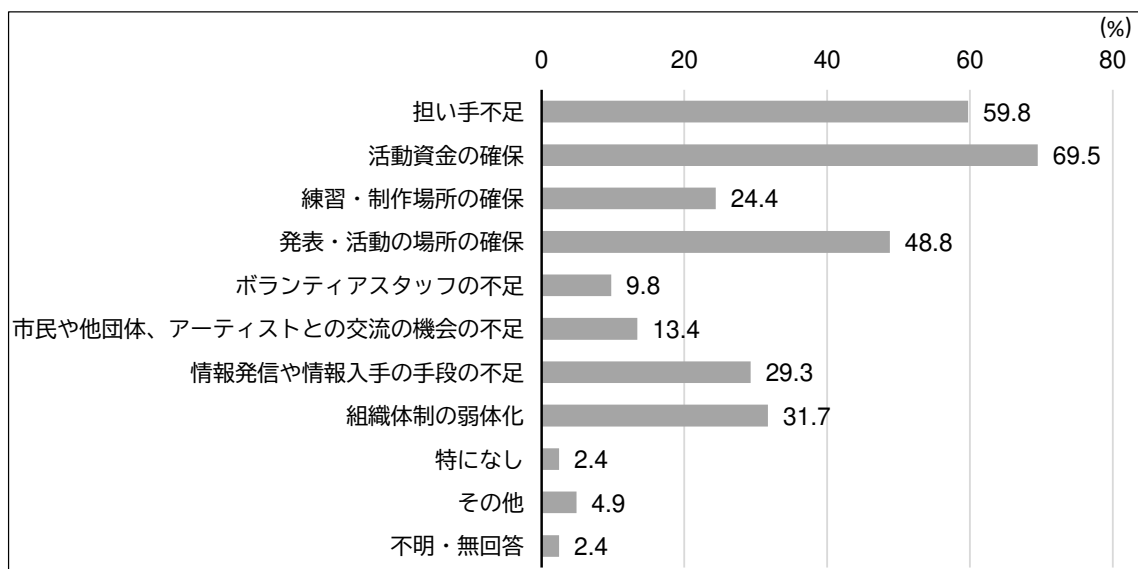
N= 82		
項目	件数（件）	構成比（%）
1 満足している	10	12.2
2 どちらかといえば満足している	29	35.4
3 どちらかといえば満足していない	18	22.0
4 満足していない	15	18.3
5 わからない	5	6.1
6 不明・無回答	5	6.1
合計	82	100.0



3. 文化芸術活動における課題（MA）

- 「活動資金の確保」が 57 件（69.5%）で最も大きく、次に「担い手不足」が 49 件（59.8%）と大きくなっている。

		N= 82	
項目	件数（件）	構成比（%）	
1 担い手不足	49	59.8	
2 活動資金の確保	57	69.5	
3 練習・制作場所の確保	20	24.4	
4 発表・活動の場所の確保	40	48.8	
5 ボランティアスタッフの不足	8	9.8	
6 市民や他団体、アーティストとの交流の機会の不足	11	13.4	
7 情報発信や情報入手の手段の不足	24	29.3	
8 組織体制の弱体化	26	31.7	
9 特になし	2	2.4	
10 その他	4	4.9	
11 不明・無回答	2	2.4	
合計	243	-	



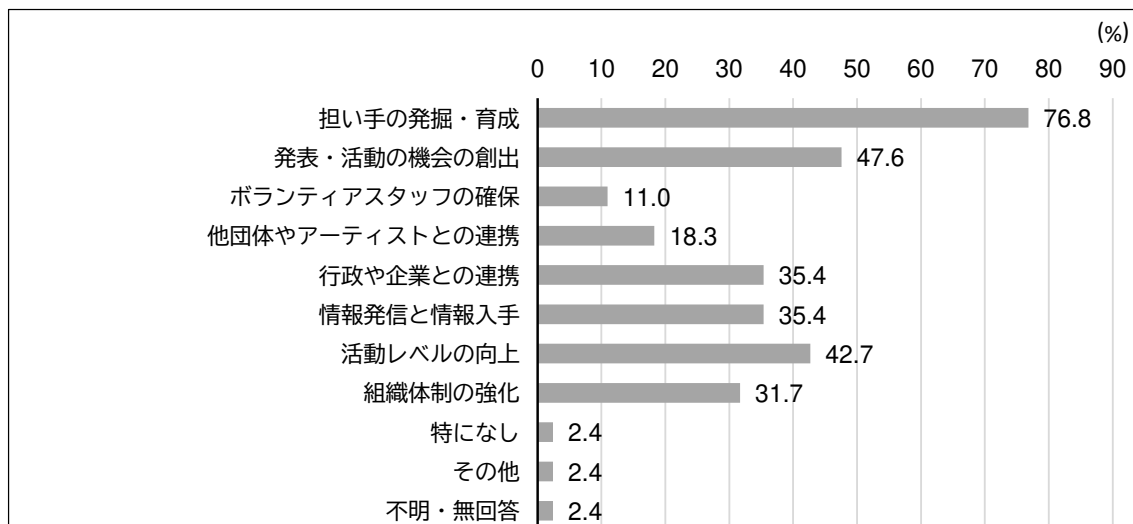
■その他

- ・特に展示部門への行政の配慮を今一つ、舞台部門だけが文化ではない
- ・県立美術館分館の使用期間を必ず 1 週間（展示 6 日）にしている事。3 日の希望多し
- ・日本人が育んで来た（道）の生活芸術文化の担いてがなくなりつつあります
- ・会員の高齢化

4. 文化芸術活動を続けるために力を入れて取り組みたいこと（MA）

- 「担い手の発掘・育成」が63件（76.8%）で最も大きく、次に「発表・活動の機会の創出」が39件（47.6%）、「活動レベルの向上」が35件（42.7%）と大きくなっている。

N= 82		
項目	件数（件）	構成比（%）
1 担い手の発掘・育成	63	76.8
2 発表・活動の機会の創出	39	47.6
3 ボランティアスタッフの確保	9	11.0
4 他団体やアーティストとの連携	15	18.3
5 行政や企業との連携	29	35.4
6 情報発信と情報入手	29	35.4
7 活動レベルの向上	35	42.7
8 組織体制の強化	26	31.7
9 特になし	2	2.4
10 その他	2	2.4
11 不明・無回答	2	2.4
合計	251	-



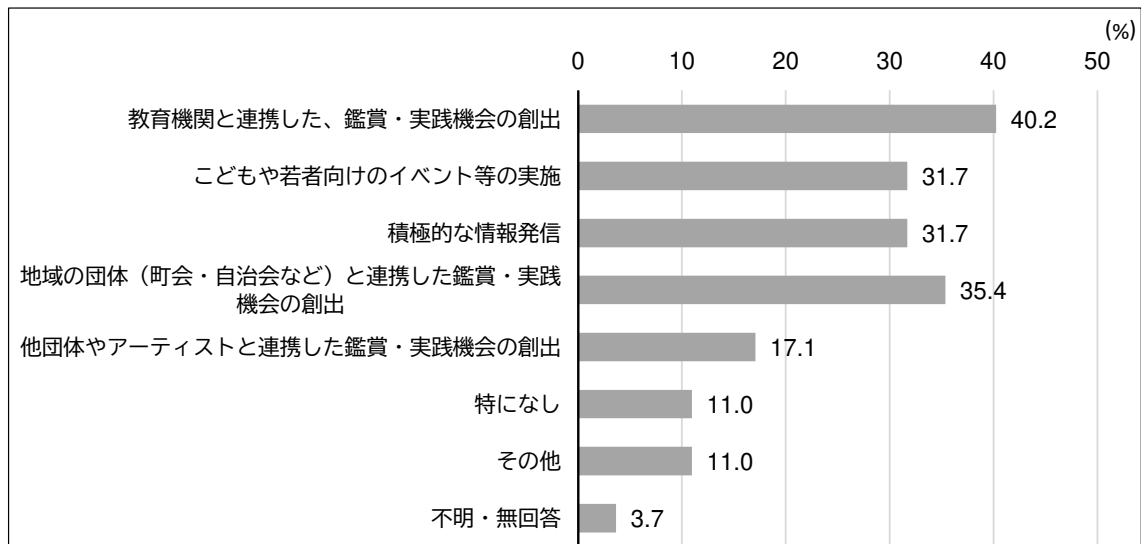
■その他

- ・ ジュニア川柳の強化
- ・ 市民への文化活動の普及

5. こどもや若者の参加を促すために取り組んでいること（MA）

- 「教育機関と連携した、鑑賞・実践機会の創出」が 33 件（40.2%）で最も大きく、次に「地域の団体（町会・自治会など）と連携した鑑賞・実践機会の創出」が 29 件（35.4%）と大きくなっている。

		N= 82	
項目	件数（件）	構成比（%）	
1 教育機関と連携した、鑑賞・実践機会の創出	33	40.2	
2 こどもや若者向けのイベント等の実施	26	31.7	
3 積極的な情報発信	26	31.7	
4 地域の団体（町会・自治会など）と連携した鑑賞・実践機会の創出	29	35.4	
5 他団体やアーティストと連携した鑑賞・実践機会の創出	14	17.1	
6 特になし	9	11.0	
7 その他	9	11.0	
8 不明・無回答	3	3.7	
合計	149	-	



■その他

- ・ 伝統文化親子教室開催
- ・ ジュニアコンクール等の開催
- ・ 推選を受け立田自然公園泰勝寺跡茶室「仰松軒」にボランティアで月 2 日花道講座として挿花してます
- ・ 小、中学校へ指導に行っても無料奉仕は限度があり、担い手の発掘につながらなかった。何とか後継者を見つけたいと模索中。
- ・ 中学生を対象に前日のリハーサルを無料開放している。
- ・ 入場無料
- ・ 新聞・テレビ等での発信
- ・ 今後、検討していきたい
- ・ こどもや若者はいくらでもチャンスはある。逆に仕事を終えた人達への働きかけが大事、文化活動は自らが求めるもの！

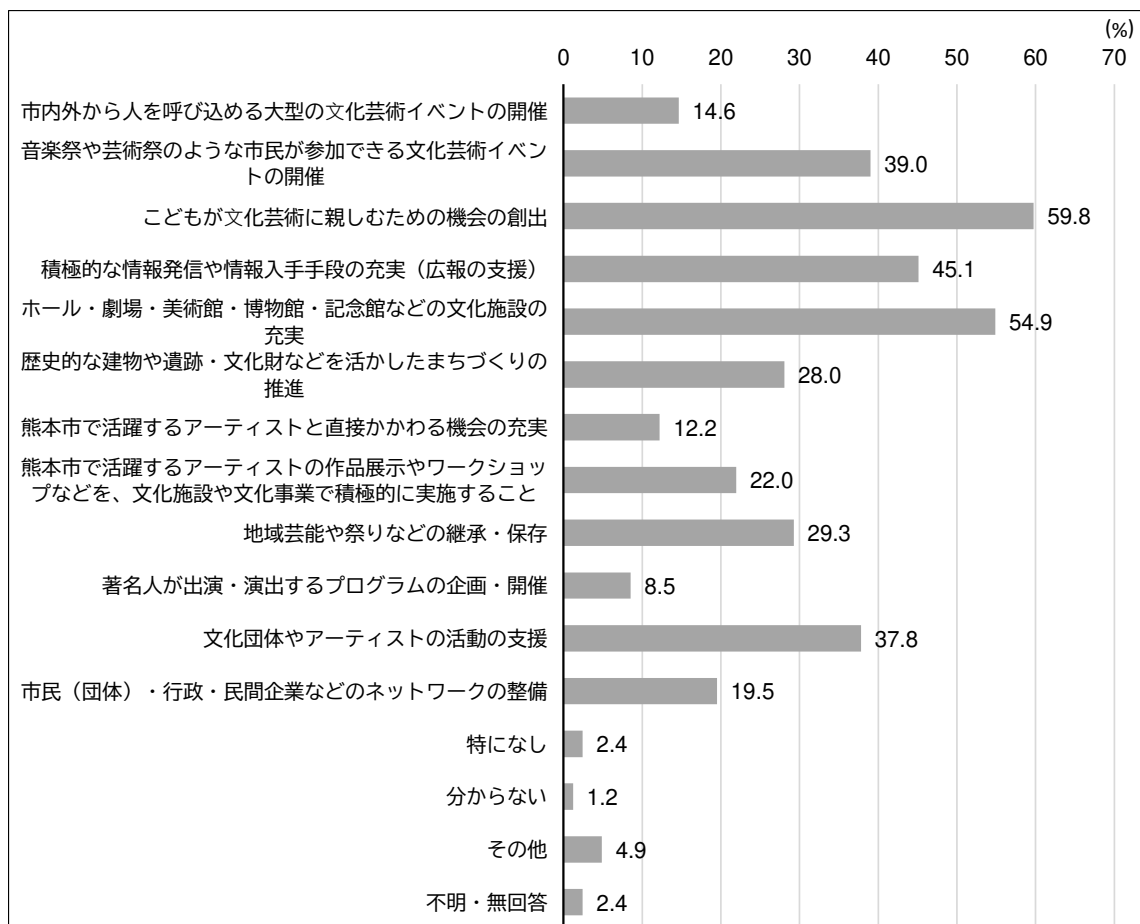
6. 熊本市の文化的な環境を充実させるために市が取り組むべきこと（MA）

- 「こどもが文化芸術に親しむための機会の創出」が 49 件（59.8%）で最も大きく、次に「ホール・劇場・美術館・博物館・記念館などの文化施設の充実」が 45 件（54.9%）と大きくなっている。

N= 82		
	項目	件数（件） 構成比（%）
1	市内外から人を呼び込める大型の文化芸術イベントの開催	12 14.6
2	音楽祭や芸術祭のような市民が参加できる文化芸術イベントの開催	32 39.0
3	こどもが文化芸術に親しむための機会の創出	49 59.8
4	積極的な情報発信や情報入手手段の充実（広報の支援）	37 45.1
5	ホール・劇場・美術館・博物館・記念館などの文化施設の充実	45 54.9
6	歴史的な建物や遺跡・文化財などを活かしたまちづくりの推進	23 28.0
7	熊本市で活躍するアーティストと直接かかわる機会の充実	10 12.2
8	熊本市で活躍するアーティストの作品展示やワークショップなどを、文化施設や文化事業で積極的に実施すること	18 22.0
9	地域芸能や祭りなどの継承・保存	24 29.3
10	著名人が出演・演出するプログラムの企画・開催	7 8.5
11	文化団体やアーティストの活動の支援	31 37.8
12	市民（団体）・行政・民間企業などのネットワークの整備	16 19.5
13	特になし	2 2.4
14	分からない	1 1.2
15	その他	4 4.9
16	不明・無回答	2 2.4
合計		313 -

■その他

- ・ 地域文化の発信
- ・ 市の文化芸術に関する情報収集と広報の充実・・・文化芸術による町づくり
- ・ 公民館など発表の場が、他自治体に比べて少ない。
- ・ 支援活動費の増額



7. ご意見 (FA)

- 主な意見を要約した。複数内容の回答があったものについては、それぞれ個別に件数を集計している。

ご意見	件数 (件)
適度な規模や生演奏専用など用途に特化した会場の整備	13
・ イベント等の会場の規模が、もっと柔軟に人数に対応出来るようになると開催しやすい ・ 子ども文化会館や国際交流会館のホールのような規模の多目的ホールが中心部だけでなく、各区にほしい ・ 昔の産文会館規模のホールがほしい ・ 生の音楽に適した音響特性を備えたホールが全く無いこととオーケストラやオペラなどの編成での練習場が恒常的に不足しており活発な活動を阻害しているため、大規模な練習場が必要 ・ 発表の場となる会場、文化施設、公共施設等が少ない ・ 活動の発表の場としての交通の便のいい公共施設を充実させてほしい ・ 会場数を充実させてほしい。練習場所の確保にも苦慮している ・ 600人規模の大きな大会を開催したい ・ 熊本市には中規模の音楽ホールがない。森都心プラザホールは多目的型のため音楽ホールとしては不十分 ・ 定員500名程度の本格的な音楽ホールを望む ・ 公民館等の施設が自治体等の使用優先のため、確保が困難 ・ 能楽堂のような施設もない ・ 駐車場が十分にあり、華展を開催する会場がほしい	
発表の機会や場所の提供	10
・ 他県からの有名なアーティストで盛り上げることは大切ですが 地元で長く活動を続けている伝統文化にもお力添え頂けたら有難い ・ 校区に伝わる民話や伝説を語れるよう紹介して欲しい ・ 地元の民話を語る小、中、高生の民話フェスティバルを開いてほしい ・ 市の事業として夏休みに民話塾を開いて、発表できるまで指導したい ・ 活動発表の場の確保に苦労している ・ 定期的に展示会を開きたいが場所の確保が困難 ・ 会場使用料が高額だったり、水が使えなかったりして花展会場に使える所が少ない ・ 地元の専門家との話し合いの元、イベントや演奏会の企画をしてほしい ・ パレオのような無料で利用できるスペースを設けてほしい ・ 現代美術館で開催できるよう協力してほしい	
会場費や活動費の助成	9
・ 費用のほとんどが会場費になってしまうため、会場費の助成をしてほしい ・ 劇場スタッフがいるのに舞台スタッフを外注しなくてはならないのが負担になっている ・ ホールの会場費を安くしてほしい ・ 熊本市からの増額助成を希望 ・ 伝統芸能の継承・保存のための助成金の増額 ・ 市の施設をもっと低価に開放して、手軽に利用できるようにしてほしい ・ 会場費も非常に高額 ・ 小学生、中学生の為に開催出来にくいイベント講習会の助成等を希望 ・ イベントを開催する際、会場費が高く苦労する	
こどもたちへの鑑賞機会の提供	7
・ 文化団体を学校へ派遣する取組を希望 ・ 若い世代に継承するために若者の興味を引く必要があり、学校や地域と連携して伝統芸能に触れ合うことができる機会を作してほしい ・ 教育の現場で、今以上に、生の芸術に触れる機会を作してほしい ・ 小中学生時代から郷土の歴史や伝統文化等の教育の拡充を図る ・ 教育現場に地方文化として肥後狂句への理解をお願いしたい ・ 「子供」に重点を置く政策展開においては鑑賞助成金等で子供達が芸術文化にかかわる機会を増やしてほしい ・ 若者が文化にふれる機会を多く作っていくことが必要	

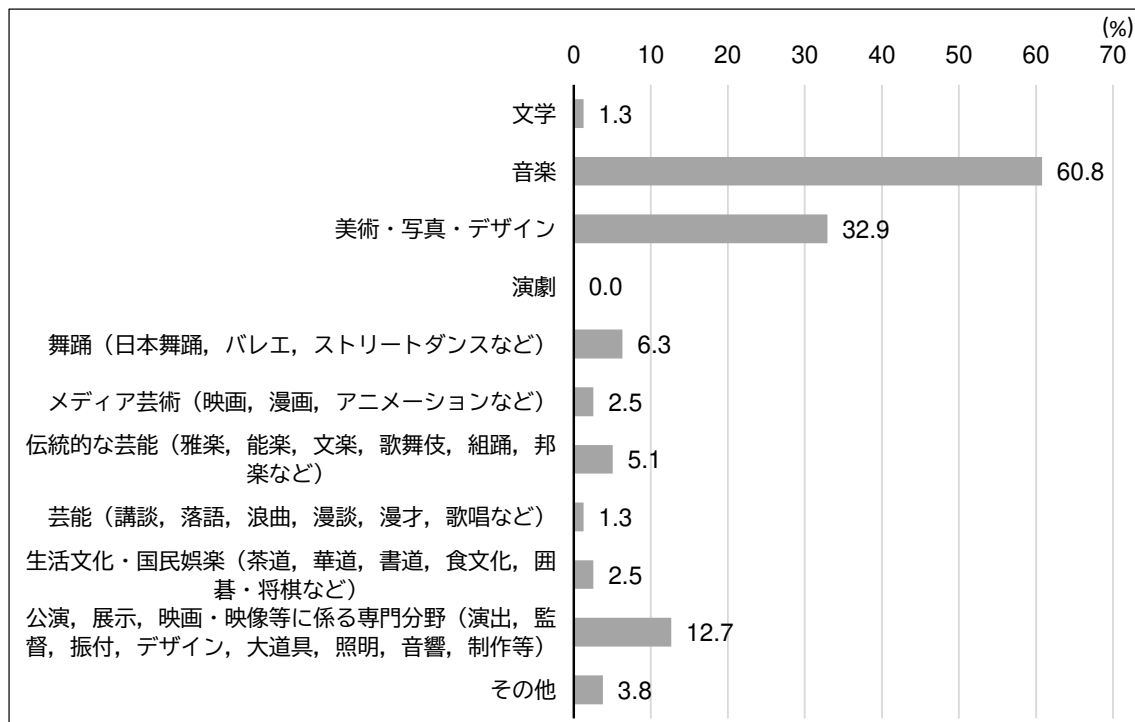
ご意見	件数（件）
活動者の高齢化や減少への対応	5
・少子化に伴い会員数が減っている ・活動者中心が高齢者であり、若い世代の方の参加があまりにも少ない ・後継者を育てるのは本当に難しい。時間と経済的に余裕があるのは、高齢者という現実 ・地域の人口減少、担い手不足に悩んでいる ・会員の高齢化に伴う会員不足、後継者不足で悩んでいる	
広報の支援	5
・広報の支援を希望 ・イベントの広報支援 ・広報活動への支援 ・活動をLINE公式アプリなどのSNSで情報発信しているが広報の支援を希望する ・会員拡大のための周知宣伝方法	
鑑賞機会の提供	2
・海外のオーケストラ美術鑑賞を招き良い熊本人を作ってほしい ・熊本城ホールがあるので有名な芸能人を呼びコンサートや芸術祭、音楽祭等を多く開催できるようにしてほしい	
その他	23
・施設ごとにではなく、日時と規模で会場を検索できるようなしくみを ・経歴や能力を審査された音楽の人材バンク的なものを作って、学校、保育園公演、イベント出演など、派遣して頂くシステムがほしい ・自分達で努力していくしかない ・中学校部活動の地域移行を現場優先でお願いしたい ・読書や文学への教育や支援 ・若い方たちに対しては情報化教育も大事だが、活字を通して「読み書き考える」読書や文学への一そうの教育や支援をお願いしたい ・「ことば」や「文学」への学びを通して、国際交流を促進し熊本市の真の文化的充実と発展をめざすための支援をお願いしたい ・伝統文化の振興に加えて、用具等を製造する文化・技術の伝承も必要 ・文化活動は個々人が自主的にやっていくもので、そこに至るまでの支援をしてほしい ・最近では外国の来訪者が増えたので、ボランティアで通訳ができる人に講座に参加してほしい ・活動への支援、後援などの手続きの簡素化を希望 ・アンケートがどう活かされるか心もとない ・熊本市文化政策課のスタッフの資格や業務内容も不明 ・生き物を飼うという文化も積極的に文化の一端としてとらえて普及して欲しい ・コロナ禍を経て、特に子供達の情操教育のために芸術分野の重要性を痛感した ・芸術分野の振興は、コロナ等の影響をかなり受けている ・現在は南区と北区だが、あとの中央区、東区、西区も含めた「熊本市文化協会」がこれから活動できるような体制ができた。資金面も含め、今後に期待 ・今後も支援をお願いしたい ・熊本の暮らしの中には沢山の芸術が溢れている。美術展、伝統行事だけではなく、風土に根ざした現地実習を行うことで、熊本で暮らす普段の生活の中にある、文化、芸術を知るきっかけになるかもしれない ・人口増加の地域もあり、地域間の人口のバランスがとれるような施策を期待する ・白川公園が市役所建て替えの候補地となった場合、茶室の移転先などの説明を皆がわかるようにしていただきたい ・市民会館会議室等の予約が半年前というのを改善してほしい ・例えばフランスのルイ14世が文化芸術の振興を積極的に推し進め、豊かな国づくりを行ったように（一方では戦争も多かったのですが）、文化芸術の振興は一見遠まわりのように見えて実は効果の高い方策であると思う ・ネーミングライツやクラウドファンディングについて知りたい	

Ⅲ. 調査結果（アーティスト）

1. 文化芸術の活動領域（MA）

- 「音楽」が48件（60.8%）で最も大きく、次に「美術・写真・デザイン」が26件（32.9%）と大きくなっている。

		N= 79	
	項目	件数（件）	構成比（%）
1	文学	1	1.3
2	音楽	48	60.8
3	美術・写真・デザイン	26	32.9
4	演劇	0	0.0
5	舞踊（日本舞踊，バレエ，ストリートダンスなど）	5	6.3
6	メディア芸術（映画，漫画，アニメーションなど）	2	2.5
7	伝統的な芸能（雅楽，能楽，文楽，歌舞伎，組踊，邦楽など）	4	5.1
8	芸能（講談，落語，浪曲，漫談，漫才，歌唱など）	1	1.3
9	生活文化・国民娯楽（茶道，華道，書道，食文化，囲碁・将棋など）	2	2.5
10	公演，展示，映画・映像等に係る専門分野（演出，監督，振付，デザイン，大道具，照明，音響，制作等）	10	12.7
11	その他	3	3.8
合計		102	-



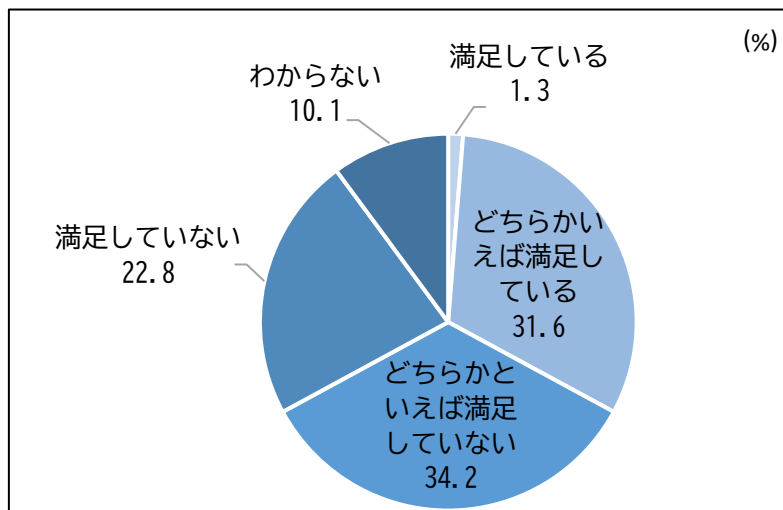
■その他

- ・ライブドローイング/グラフィックレコーディング
- ・DJ
- ・自然農

2. 熊本市の文化的な環境に対する満足度（SA）

- 「どちらかといえば満足していない」が27件（34.2%）で最も大きく、次に「どちらかといえば満足している」が25件（31.6%）と大きくなっている。
- 「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は26件（32.9%）、「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計は45件（57.0%）となっており、5割以上があまり満足していない。

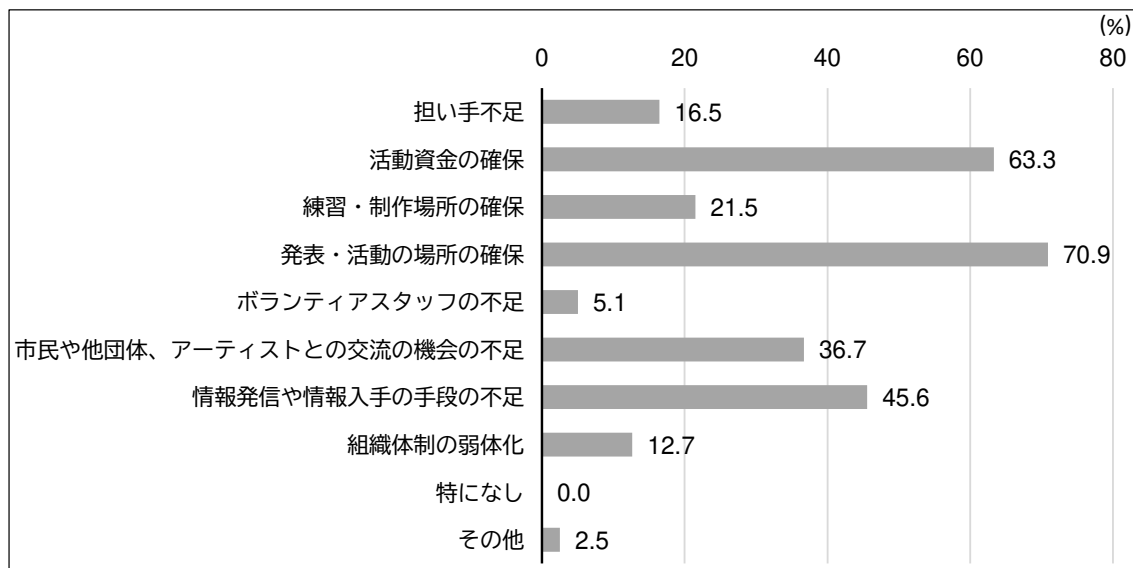
		N= 79	
項目	件数（件）	構成比（%）	
1 満足している	1	1.3	
2 どちらかといえば満足している	25	31.6	
3 どちらかといえば満足していない	27	34.2	
4 満足していない	18	22.8	
5 わからない	8	10.1	
合計	79	100.0	



3. 文化芸術活動における課題（MA）

- 「発表・活動の場所の確保」が56件（70.9％）で最も大きく、次に「活動資金の確保」が50件（63.3％）と大きくなっている。

		N= 79	
項目	件数（件）	構成比（％）	
1 担い手不足	13	16.5	
2 活動資金の確保	50	63.3	
3 練習・制作場所の確保	17	21.5	
4 発表・活動の場所の確保	56	70.9	
5 ボランティアスタッフの不足	4	5.1	
6 市民や他団体、アーティストとの交流の機会の不足	29	36.7	
7 情報発信や情報入手の手段の不足	36	45.6	
8 組織体制の弱体化	10	12.7	
9 特になし	0	0.0	
10 その他	2	2.5	
合計	217	-	



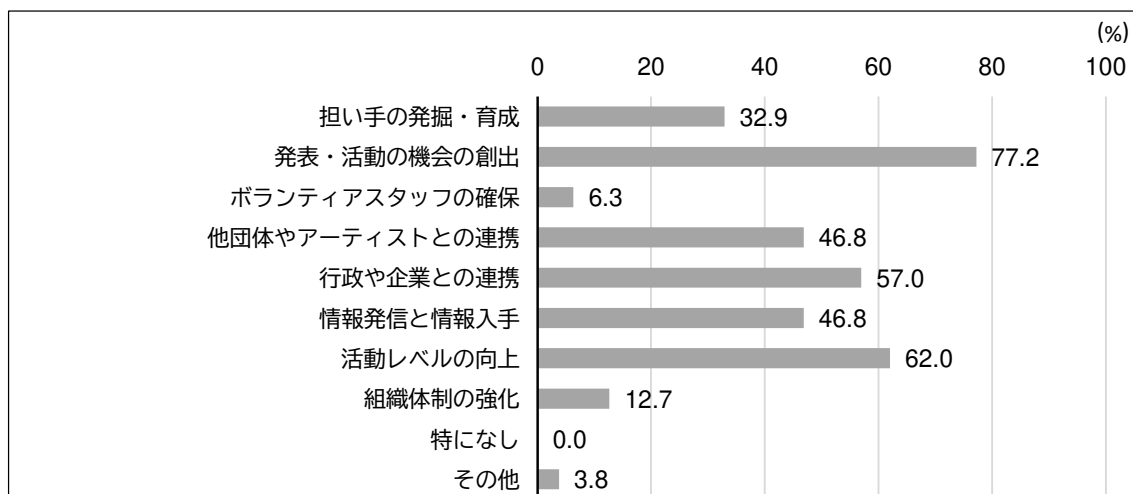
■その他

- ・電源の確保
- ・車運転出来ないので市内に制限される

4. 文化芸術活動を続けるために力を入れて取り組みたいこと（MA）

- 「発表・活動の機会の創出」が61件（77.2%）で最も大きく、次に「活動レベルの向上」が49件（62.0%）と大きくなっている。

		N= 79	
項目	件数（件）	構成比（%）	
1 担い手の発掘・育成	26	32.9	
2 発表・活動の機会の創出	61	77.2	
3 ボランティアスタッフの確保	5	6.3	
4 他団体やアーティストとの連携	37	46.8	
5 行政や企業との連携	45	57.0	
6 情報発信と情報入手	37	46.8	
7 活動レベルの向上	49	62.0	
8 組織体制の強化	10	12.7	
9 特になし	0	0.0	
10 その他	3	3.8	
合計	273	-	



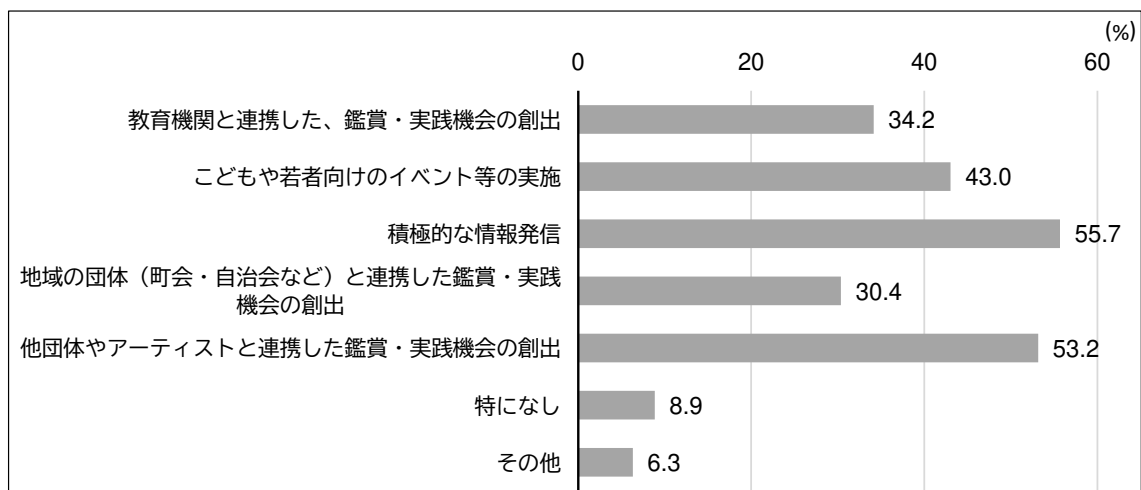
■その他

- ・音楽を通しての熊本の魅力を県外、海外へ発信する
- ・会場が大き過ぎる問題
- ・子供アトリエ

5. こどもや若者の参加を促すために取り組んでいること（MA）

- 「積極的な情報発信」が44件（55.7%）で最も大きく、次に「他団体やアーティストと連携した鑑賞・実践機会の創出」が42件（53.2%）と大きくなっている。

		N= 79	
	項目	件数（件）	構成比（%）
1	教育機関と連携した、鑑賞・実践機会の創出	27	34.2
2	こどもや若者向けのイベント等の実施	34	43.0
3	積極的な情報発信	44	55.7
4	地域の団体（町会・自治会など）と連携した鑑賞・実践機会の創出	24	30.4
5	他団体やアーティストと連携した鑑賞・実践機会の創出	42	53.2
6	特になし	7	8.9
7	その他	5	6.3
合計		183	-



■その他

- ・職場のイベント等での活動
- ・スポーツ団体、試合時のDJ体験コーナーの設置、実施
- ・自分で足を運んで鑑賞し、積極的に声をかける
- ・今後あちこちでワークショップ検討
- ・子供食堂での演奏活動

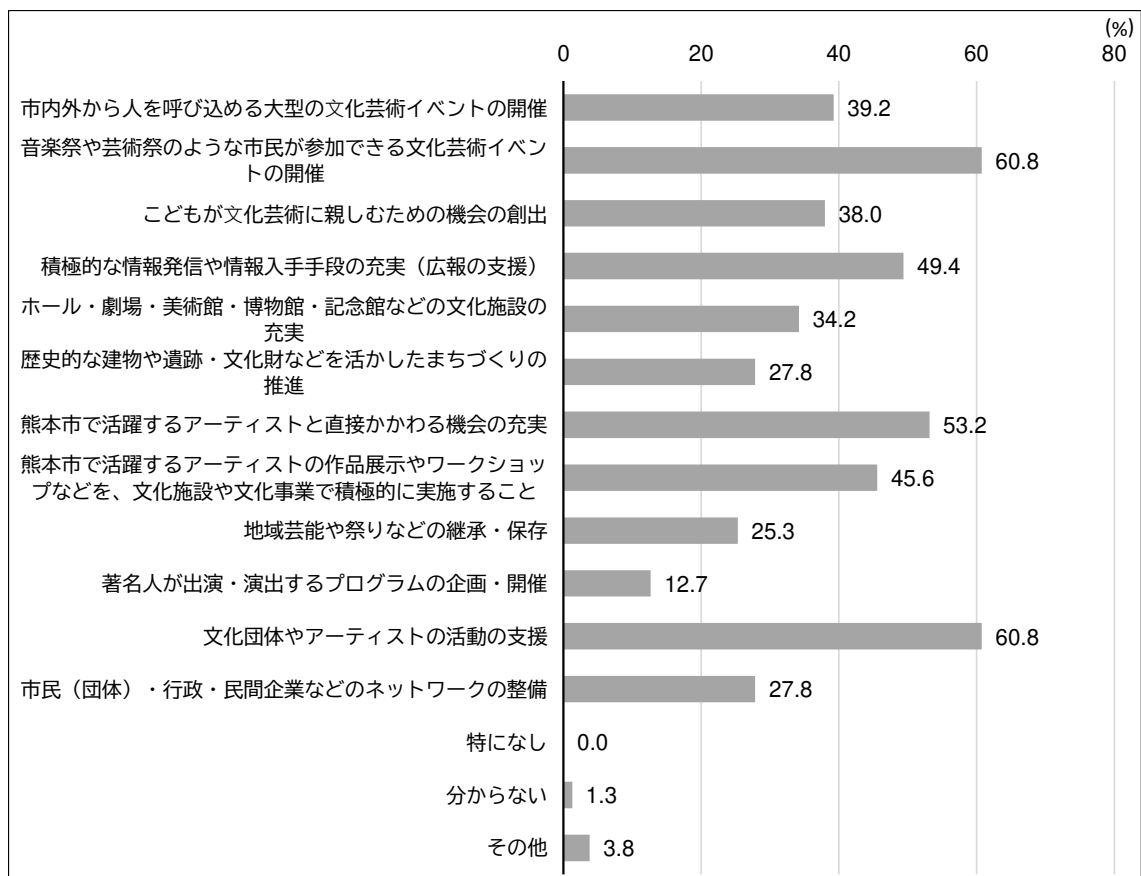
6. 熊本市の文化的な環境を充実させるために市が取り組むべきこと (MA)

- 「音楽祭や芸術祭のような市民が参加できる文化芸術イベントの開催」と「文化団体やアーティストの活動の支援」が 48 件 (60.8%) で最も大きく、次に「熊本市で活躍するアーティストと直接かかわる機会の充実」が 42 件 (53.2%) と大きくなっている。

N= 79		
	項目	件数 (件) 構成比 (%)
1	市内外から人を呼び込める大型の文化芸術イベントの開催	31 39.2
2	音楽祭や芸術祭のような市民が参加できる文化芸術イベントの開催	48 60.8
3	こどもが文化芸術に親しむための機会の創出	30 38.0
4	積極的な情報発信や情報入手手段の充実 (広報の支援)	39 49.4
5	ホール・劇場・美術館・博物館・記念館などの文化施設の充実	27 34.2
6	歴史的な建物や遺跡・文化財などを活かしたまちづくりの推進	22 27.8
7	熊本市で活躍するアーティストと直接かかわる機会の充実	42 53.2
8	熊本市で活躍するアーティストの作品展示やワークショップなどを、文化施設や文化事業で積極的に実施すること	36 45.6
9	地域芸能や祭りなどの継承・保存	20 25.3
10	著名人が出演・演出するプログラムの企画・開催	10 12.7
11	文化団体やアーティストの活動の支援	48 60.8
12	市民 (団体) ・行政・民間企業などのネットワークの整備	22 27.8
13	特になし	0 0.0
14	分からない	1 1.3
15	その他	3 3.8
合計		379 -

■その他

- ・芸術文化が QOL (生活の質向上) に役立つと実感していただける機会を増やすことが望ましいと考えます。具体的には、WS イベントの開催場所を公園などアクセスしやすいエリアにしたり、口コミなどを公式ラインや現場の情報をテレビ、ラジオなどで中継したりして実際の取り組みやとっつきやすさをアピールすることで知ってもらうことから始めるのが有効だと考えました。ここまでお目通しくださり、ありがとうございました。
- ・登録アーティストをもっと使う
- ・レコーディング、動画撮影用スタジオの運営



7. ご意見 (FA)

- 主な意見を要約した。複数内容の回答があったものについては、それぞれ個別に件数を集計している。

ご意見	件数 (件)
発表の機会や場所の提供 ・クラシック音楽家の活動の場を増やしてほしい ・地元の企業や百貨店、地域住民の皆様と一緒に熊本の文化・芸能を盛り上げ、更には県外や世界各地でのイベントにも繋げて行きたい ・いろんなテーマや企画を提案をしてもらい、いろんな機会を与えてもらえたら ・アーティストだけでなく企業、業者、熊本市内外の業者、メーカー、ブランド業者などの方もアーティストと一緒に使えるような会場があれば ・アートイベントといえばここというような会場がほしい ・ホンモノシコウの作家とのコラボ企画を希望 ・熊本は、アマチュア団体がとても多く、県内のプロの演奏家が活躍できる場、機会が少ない。熊本には音大を卒業したレベルの高い奏者が沢山いらっしゃるのので地元の演奏家を応援して活躍出来る場が欲しい ・地元アーティストが活動し、認知されるような取り組みを期待する ・アーティストスポットに安易に登録するアーティストが増え、質のばらつきが大きくなっているように思える。ある程度のランク分けは必要。その上で、報酬のある(交通費程度はいただけ)イベントを増やしてもらえると、質の向上文化発展に寄与できるのではないかと ・上通は今ひとつ賑やかさに欠ける。そこを解消する意味でもアーティストの方達と、上通などアーケードを利用した作品展示やLIVEペイント、ワークショップなど発表の機会を増やしてはどうか？ ・今後も、多くの方々に活動を知って頂く機会が増えればと願っている ・熊本城や水前寺能舞台等、街から文化を発信し観光客なども楽しめて演奏者も潤い満たされる場が広がると理想的だと思う ・市が主催するスポーツイベントや催し物の景品、贈答、お土産品に熊本産品の物を積極的に使ってほしい ・駅やホテルなど、人が多く行き交う場所の室内、街角に地元熊本のアーティストの作品を沢山飾ってある街にしてほしい。市が企業に働きかけ、会社の出入り口や室内通路等に地元の作品を飾ることを薦めてほしい ・表現の場を増やしてほしい (DJの出演枠を増やして頂きたい) ・高齢者や移動が困難な方たちのために出前コンサートを導入してほしい ・大きな会場は敷居が高くソロアーティストは難しいので野外の小さなスペース等でもやってほしい。神社や運動公園でのフリマなどとのコラボもしてほしい ・企業とアーティストがコラボする企画があれば ・春夏秋冬のワークショップなどイベントを開催してほしい ・アーティストスポットに参加して間もないので来年からはもっと色々参加したい ・ストリートライブの企画を支援して欲しい ・熊本の名所や観光スポットで演奏、イベントを企画してほしい	23
イベント等の情報提供 ・どこで何が開催されるのか情報を収集することが難しいので 様々なイベント情報がまとまっているホームページやSNSがほしい ・展示の募集など行っている事業所は積極的に教えてほしい ・補助金制度の情報を教えてほしい ・学校などの鑑賞教室などにおいても、県劇のアウトリーチや文科省のアウトリーチなどへの依頼が増えたことで、そこに在籍していないと動けないような状況もある。様々なイベントの出演情報などを教えて頂きたい ・イベントなどの出演者募集などの情報がなかなか入ってこない ・参加できるイベントの情報が欲しい ・小さな交流から繋がりができて、熊本市にライブに来る他の地域のアーティストたちも熊本市の魅力を広げてくれるのではないかと。ツアーミュージシャンに向けて安い旅の宿の情報発信があっても良い ・ちょっとしたコンサートが出来る建物やカフェ、街中スペースなど、具体的に、使用詳細を提供してほしい ・イベントの告知、募集をわかりやすくしてほしい	9

ご意見	件数（件）
適度な規模や生演奏専用など用途に特化した会場の整備	4
・20～30名規模のイベント会場を希望 ・250～300人規模の小規模の音楽専用のホール（健軍・森都心程度）が街中に欲しい ・演劇と音楽を兼ねて欲しくない、音楽専用の音響の良いホールは、利用者の回転が良く、録音録画にも使えて人気が出ると思う ・熊本市近郊または市街地に音楽専用の小規模なホールがほしい	
広報の支援	3
・作詞作曲演奏といった通常の音楽活動に加え、近ごろはイベントの主催や企画運営に携わることが増えてきた。行政のバックアップを必要と感じる機会はあまりないが、広報の支援や出演者を公募する際の支援を希望する ・Instagramの活用 ・イベントを自主企画で開催する時の広報手段の薄弱性が難点で集客できない	
こどもたちへの鑑賞機会の提供	1
・音楽や舞台に触れる機会があまりない子どもが多くなっているように感じる。より広く多くの学校で舞台を鑑賞できる機会があると、より子どもたちの健やかな成長に繋がる	
その他	27
・個人で行えないイベントや県外でのイベント色んな企業とのコラボ、集客面で課題を感じる ・県外でのイベントでは費用面以外に、期間中在廊ができないので参加しづらい ・日々環境などの変化で回答も変わるので、回答はあまりあてにならないと思うが、アーティストスポットの取り組みは、とてもいいと思う ・アーティストスポット熊本に登録したアーティストや場所に何らかの特典があってもいいかも。例えば、登録しているカフェでの割引サービスなど ・スポットから活用の仕方がわからないと言われる。登録したことを忘れているところも。スポット活用例を案内してもいいかも ・アンケートのご機会をありがとうございました ・街角音楽祭や火の国まつり、お城まつりなど、コンセントだけでなく音響を整えてほしい ・委託業と市の連携が取れておらず、当日までの段取りの悪さに驚かされたのが、とても残念だった。今後、改善されることを期待する ・アートデレクション・デザイン・イラストレーションの活動をしてきたが、あい変わらず「よそ者」と感じる ・個人のアーティストや団体ごとへの一律の報酬ということで、団体をサポートできるように報酬を考えて欲しい ・補助金の申請の簡便化 ・練習施設の使用料等が高い ・もっと混じりあって、意見や考えを混じり合わさる事で新たな挑戦が生みだされると考える ・演奏の機会や仕事がプロではなくアマチュアの方に流れてすぎていると感じる。棲み分けはきちんとしてほしい ・文化芸術を継続するために収入を増やしていく形を構築したい ・音楽ホール以外で日常的に生活の中に音楽を楽しめるようになるべき ・演奏家が自らの手で音楽を広め市民の共有財産にすることを心掛けている ・企業と仕事の繋がりができるよう目指している。以前、熊本の企業とのマッチングイベントも参加したことはあるが仕事には繋がらなかった。イベントではなく企業と仕事ができるようまず収入の安定をと思う ・今後ともアーティスト活動に集中して取り組めるように支援がほしい ・コロナ禍で、数年歌うことができなかった中、環境も変わりゆく中で 発表の場を作って下さった熊本市に感謝している ・アーティストスポットのようなサイトを市で作っていただくことは、アーティストも大変心強い ・アーティストスポットでイベントや展示会参加に誘っていただいたりと、自身の活動の場が広がってきているのを実感している ・音響はアーティストに丸投げじゃなくPAをつけて欲しい ・熊本の街の路上に生の音楽が聴こえて楽しむ人々の風景を想像して心がワクワクする ・コンサート等を開催する時に何らかの形で助成がほしい ・地元と密接に繋がったプロミュージシャンとそれを後押しする行政との関係を築いてほしい ・熊本で働きながら、日々楽器を持って音を鳴らす事を楽しみながら生きていきたい	

IV. 資料編

- 熊本市文化芸術振興に関するアンケート調査票
（文化芸術団体、アーティスト用）

熊本市文化芸術振興に関する アンケート調査へのご協力をお願い

日頃から熊本市の文化行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、近年社会情勢が大きく変化する中、引き続き文化行政を市政の中核と位置づけ、「上質な生活・文化都市くまもと」を目指すため、新たに「熊本市文化芸術推進基本計画」を策定予定です。

そこで、熊本市で活動する（文化芸術団体／アーティスト）の皆様のご意見をアンケート調査にてお聞かせください。いただいたアンケートの結果は、熊本市文化芸術推進基本計画の策定に参考とさせていただきます。

お忙しいところ恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

熊本市文化市民局文化創造部 文化政策課

《回答方法》

- 回答は貴団体のお考えでご記入ください。
- 次ページ以降に、黒のボールペンまたは濃い鉛筆で回答をご記入ください。
- 各設問について、あてはまる選択番号を選んで○印をつけてください。
- 記述を必要とする設問は、回答内容をご記入ください。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、令和5年12月25日（月）までに、郵便ポストへ投函してください。

【担当】

熊本市文化市民局文化創造部文化政策課 西村、村上
〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号
Mail : bunkaseisaku@city.kumamoto.lg.jp

熊本市文化芸術振興に関するアンケート

団体名()

アーティスト名※任意()

問1 あなた(貴団体)の文化芸術の活動領域を教えてください。(複数選択可)

- 1.文学
- 2.音楽
- 3.美術・写真・デザイン
- 4.演劇
- 5.舞踊(日本舞踊, バレエ, ストリートダンスなど)
- 6.メディア芸術(映画, 漫画, アニメーションなど)
- 7.伝統的な芸能(雅楽, 能楽, 文楽, 歌舞伎, 組踊, 邦楽など)
- 8.芸能(講談, 落語, 浪曲, 漫談, 漫才, 歌唱など)
- 9.生活文化・国民娯楽(茶道, 華道, 書道, 食文化, 囲碁・将棋など)
- 10.公演, 展示, 映画・映像等に係る専門分野(演出, 監督, 振付, デザイン, 大道具, 照明, 音響, 制作等)
- 11.その他()

問2 文化芸術活動を行うにあたり、文化施設の使いやすさや、発表の機会など、熊本市の文化的な環境に満足していますか。(該当するもの1つに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1.満足している | 2.どちらかといえば満足している |
| 3.どちらかといえば満足していない | 4.満足していない |
| 5.わからない | |

問3 普段、文化芸術活動をしていて課題に思うことは何ですか。(該当するものすべてに○)

- 1.担い手不足
- 2.活動資金の確保
- 3.練習・制作場所の確保
- 4.発表・活動の場所の確保
- 5.ボランティアスタッフの不足
- 6.市民や他団体、アーティストとの交流の機会の不足
- 7.情報発信や情報入手の手段の不足
- 8.組織体制の弱体化
- 9.特になし
- 10.その他()



問4 これからも文化芸術活動を続けていくにあたって、力を入れて取り組みたいことは何ですか。(該当するものすべてに○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1.担い手の発掘・育成 | 2.発表・活動の機会の創出 |
| 3.ボランティアスタッフの確保 | 4.他団体やアーティストとの連携 |
| 5.行政や企業との連携 | 6.情報発信と情報入手 |
| 7.活動レベルの向上 | 8.組織体制の強化 |
| 9.特になし | 10.その他() |

問5 あなた(貴団体)の活動へ、こどもや若者の一層の参加を促すために、どのようなことに取り組んでいますか。(該当するものすべてに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1.教育機関と連携した、鑑賞・実践機会の創出 |
| 2.こどもや若者向けのイベント等の実施 |
| 3.積極的な情報発信 |
| 4.地域の団体(町会・自治会など)と連携した鑑賞・実践機会の創出 |
| 5.他団体やアーティストと連携した鑑賞・実践機会の創出 |
| 6.特になし |
| 7.その他() |

問6 熊本市の文化的な環境を充実させるために、市はどのような取り組みを行うべきだと思いますか。(該当するものすべてに○)

- | |
|---|
| 1.市内外から人を呼び込める大型の文化芸術イベントの開催 |
| 2.音楽祭や芸術祭のような市民が参加できる文化芸術イベントの開催 |
| 3.こどもが文化芸術に親しむための機会の創出 |
| 4.積極的な情報発信や情報入手手段の充実(広報の支援) |
| 5.ホール・劇場・美術館・博物館・記念館などの文化施設の充実 |
| 6.歴史的な建物や遺跡・文化財などを活かしたまちづくりの推進 |
| 7.熊本市で活躍するアーティストと直接かかわる機会の充実 |
| 8.熊本市で活躍するアーティストの作品展示やワークショップなどを、文化施設や文化事業で積極的に実施すること |
| 9.地域芸能や祭りなどの継承・保存 |
| 10.著名人が出演・演出するプログラムの企画・開催 |
| 11.文化団体やアーティストの活動の支援 |
| 12.市民(団体)・行政・民間企業などのネットワークの整備 |
| 13.特になし |
| 14.分からない |
| 15.その他() |



問 7 自由にご意見をお聞かせください。

御協力いただき、誠にありがとうございました。
お手数ですが、記入漏れがないかもう一度お確かめいただき、
同封の返信用封筒に入れて投函をお願いします。

